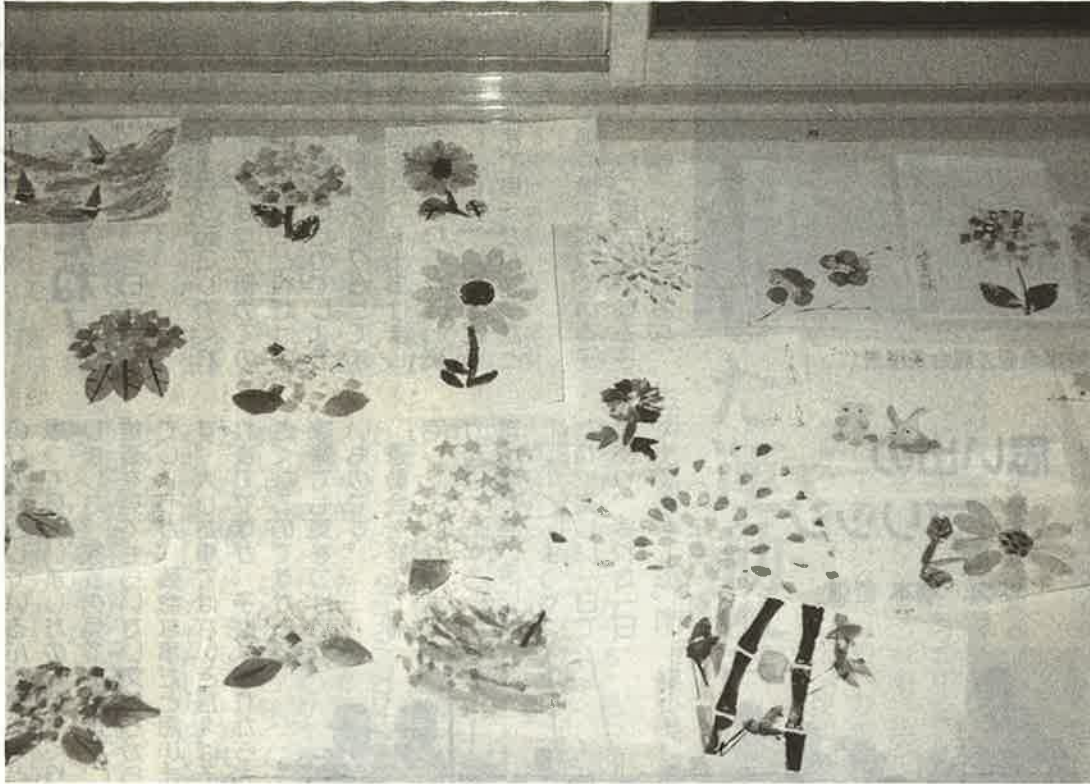




編集発行
羽津北小学校
PTA広報部
印刷
阿竹印刷工業(株)

第 27 号



ケシゴムから生まれた見事な芸術

夏休みも終わりに近い八月二十二日、親子の版画教室が開かれました。老谷先生の御指導のもと、カッターナイフを使って、ケシゴムに絵を書いて、それをナイフで削り、はがき大の紙に版画絵を作りました。小さなゴム片で鮮やかな色を使って描き出す絵はとてもすてきなものでした。低学年の子もなかなか器用で、親の方が教えられるものでした。年賀状につかうと、とても、よろこばれると思います。
(教養部)



子供の器用さに改めてびっくり

夏休みの八月二十一日、たくさん親子が集まり、版画教室を開きました。版画といいますが、一般にいう、木版画やゴム版画とは違う、ケシゴムを使う一風変わった版画です。ケシゴムをカッターナイフで彫り、それを重ねたり、上下逆に押しだして、図案を作っていきます。もちろん多色刷りもでき、子ども達にも手軽にできたよかったです。

年賀状にいかがですか

はがきを書く時、少しカッターが欲しかったり、たくさん出さない年賀状で木版画はちよつと...という時に使っていたら、思えばと紹介させていただきます。さて、教室での風景ですが、細かい所をカッターナイフや包丁で切るという作業、構図や配色を考えながらケシゴムを押すという作業があり、和気あいあいとしたぶん囲気の中にも、緊張した表情が見られ、みなさん真剣に取り組んでみえました。予想していた以上に、すばらしい作品がで上がり最後の批評会で見せていただいた中には、「こんな風にもできるのか」と思わせる図案もあり、勉強にな

りました。又、「先生、子どもの方が上手なので、いやになっちゃうわ」という声も聞かれました。子ども達ががんばりました。子どもは、大人のように形や色にそれほどこだわりませんので、実に伸び伸びとしたものを表現します。子ども達の姿や作品を見て、学校の授業もこうでありたいなと考えさせられました。最後に、「先生、家でもやりたいので、」

ケシゴムをわけて下さい。」と五、六人の方に言われて、この教室を引き受けて、本当に良かったと思いました。
(老谷洋子)



ホント ようやったね!

「お田やん、起きて。今日はボウの運動会やね!」

朝5時40分子供が起りてくれました。小学生になって初めての運動会。この日の為にどれだけ時間をかけて練習したのでしょか。子供は、胸ワクワクさせてます。私も弁当を持って出掛けました。どこまでがんばれるかなと楽しみに応援しました。結果はどうであれ最後まで良くがんばったと思います。

個人走で前や横を走っている子をついたり、ひっぱたりする子がいるそうです。どの子もみな、



いよいよ始まるぞ/開会式風景

のびのびとしているんだなあーと
思っ見ていましたのでびっくり
しました。家族の見ている前で、
雄姿を見てもらいたい気持ちから
でしょうが、残念な事だと思いま
す。大した事ではないと言えそ
れなのですが、子供はこれから大
きくなるのですから

家庭でも気をつけたい
ものです。

運動会を終えて帰
宅した子供が「ボウ
がんばったやろ」と
満足顔で言いました。

「ホント、ようやっ
たね」楽しい一日で
もあり、疲れた一日
でもありました。
(一年生・親)

思い出の ブリッジ

六年 橋本 哲弥



かける羽津北っ子

秋晴れに恵まれた運動会。初めて羽津北小で運動会を経験する子、親、先生、最後の運動会になる六年生にそれぞれの印象を書いて頂きました。

ボク達一年生

50メートル走で一位をとつたら、
おかあさんが「すごい」とびつっ
りしていました。(森 圭司)
玉入れががんばったけど負けちゃ
ったよ。1103と1188。赤負けちゃった

けど、こんどはがんばるぞ。

(佐藤 弘匡)

50メートル走で三等になりました。
おかあさんが「幼稚園のとき
より速くなったね」と言いました。

(寺村 敦子)

ドレミの踊りがじょうずにでき
ました。(伊藤 理恵)

どれみのおどりをおどっている
ときに、はながいろいろあつてき
れいだとおもいました。わたしは
ぴんくのはなをつけていっしょう
けんめいにおどりました。

(いとうえみ)

たまいれでわたしはいっしょう
けんめいなげました。
あたまにたまがあたりたりしま

(いち川ふみ子)

「ブリッジ」とうきでしまつた
ブリッジ。もうどうしようもな
くなつた。「ピッ」下の五人組が肩
を組んだ。「ピッ」三人組が五人組
の肩の上のつて肩を組んだ。さ
あ、次はぼくだ。心の中でそう思
つた。「ピッ」ぼくが、三人組の肩
の上のつた。周りも形を仕上げ
てきた。「ピッ」五人が四人を持
ち上げた。まずは無事成功。「ピッ」
三人が立とうとして立ちかけた
とき、ユラッとゆれ、ものすごくび
つくりした。もうだめかと思つた。

と、どうもきんちようしすぎてしま
まつ。二人組、三人組とふえてい
つて、五人組になった時、ブリッ
ジを思い出し、手足がふるえた。
最高十人組のピラミッド。ぼく
たちは、小さい六人のピラミッド。
十人組のをやりたかった。



本番で見事に開花、組立体操



我が子の雄姿をビデオにおさめて

親子ハイキング

楽しさに雨も遠慮!!

朝からの小雨で、大丈夫かしらと心配していましたが、まづまづの天候で、楽しい一日を過ごす事ができました。

車を使う機会の多い生活の中で、久しぶりに乗った電車の中は、親子や子供達の楽しそうな話し声とうれしそうな笑顔で一杯でした。

先生とたのしそうにバレーボールをする子供達、大きな縄跳びをお母さんに回してもらってうれしそうに遊んでいる子供達、なれない手つきで、一生懸命に子供のお弁当の世話をしているお父さん、どの顔も生き生きしていても幸せそうでした。



緑と池とお弁当

朝からの小雨で、大丈夫かしらと心配していましたが、まづまづの天候で、楽しい一日を過ごす事ができました。キパキと行動する子供達を見ていました。親として、口でいつもあかしようね、こうしようねと言っているだけでなく進んでお手本をみせていける親にならなければと子供におしえられ帰ってまいりました。

これからも、このような機会が
ありました
ら喜んで出席させて
いただきたい
と思つてお
ります。
多勢の方
々にお世話
いただきま
してありが
とうござい
ました。
(匿名希望)

家族で行くハイキングとは違って普段あまり会えないお母さん方や先生ともいろいろなお話をさせていただく事もできて、とても充実した一日でした。
集合や最後のゴミ拾いなど、テ



★親子ハイキング

(九月十五日)

養老・子供の国への親子ハイキング。一百名(そのうち大人六十名)の参加者で好評のうちに終えました。

(教養部)

★秋の交通安全教室

(十月十一日)

「交通戦争」と言われて久しくなりますが、事態は鎮静化するどころか益々激しくなっています。

安全部ではみだしの教室を開催して、集団下校時の安全について指導するとともに、通学路の点検を行いました。

羽津北校区ではこれまで登下校時の交通事故は、幸いにも経験していません。このような無事故の記録をいつまでも続けていく上で交通安全教室が少しでも役立てばと願っています。

(安全部)



正しい登下校は交通安全の第一歩

これまでの行事 これからの行事

★学年PTA

(十月二十一日～十一月十九日)

今年の学年PTA行事はスポーツに取組もうと考えています。日程は次のとおりです。万障繰り合わせの上、多数の御参加をお願いします。

●親子ゲーム

一年(十一月六日)

●親子ゲーム

二年(十一月十九日)

●ドッジボール

三年(十一月十四日)

●ドッジボール

四年(十一月五日)

●小運動会

五年(十月三十一日)

●オリエンテーリング

六年(十一月八日)

★両親学級と講演会

(十一月十八日)

近況紹介

- 松田先生、第41回かいじ国体・ヨット競技に参加。成績の方は「昨年と変わらなう」だそうです。
- 昨年の成績? さあ。
- 古市先生、九月二十八日に次女誕生。名まえは智子ちゃんです。あめでとつございます。
- 鈴木先生、十一月十日より育児休暇から復帰される予定です。

交通少年団 唯一校の市長表彰

羽津北小交通少年団は、交通安全に対するこれまでの真剣な取組みが認められて、市長表彰を受けました。市内に小中学校六十一校ある中で唯一、一校の受賞です。今後も一層の活躍が期待されます。

編集後記

★晴天に恵まれた運動会。子供達はそれぞれに頑張りましたが、我が子の応援に勢を出すお父さんお母さんの頑張りも仲々のものでした。来賓席はゴール前ということもあって格好の応援場所。熱心なお父さんお母さんに乗っ取られそうな勢いでした。

★そんな中でも主役はやはりお母さん。我が子の名を絶叫して激励します。お父さんは写真を撮ったり、ビデオに収めたりはしますが、あそこまで「熱狂的」にはなれません。お腹を痛めたか否かの違いでしょうか。
★今年のレレー競技には先生方は参加されませんでした。六年生にとつては最後の運動会でもあり、何かの思い出になればということを取り入れられたと聞いています。取り止めになったのは理由があつたことでしょうか、「残念だな」と思ったのは編集者一人ではなかつたようです。